

令和4年度 家庭科 1年 年間指導計画・評価計画

＜1＞ 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を各学年・各分野において育成することを目指す。

＜2＞ 各学年・各分野の目標

1. 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

2. 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

3. 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

＜3＞ 評価の観点及びその趣旨

知識及び技能	生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解と、それらに関わる技能を身につけている。
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力をつけている。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけている。

＜4＞ 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

＜5＞ 指導上の配慮事項

- ①実践的、体験的な学習や問題解決的な学習活動の設定
- ②言語活動の充実
- ③ICT 機器の活用
- ④個に応じた指導

章	学習内容	時	主な学習活動	評価の観点		
				知能・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 章 家族・家庭や地域とのかかわり	家庭分野のガイダンス 「家族・家庭や地域とのかかわり」のガイダンス	2	・教科書 p8～11 などを参考に、私の成長と家庭分野の学習を確認する。 ・小学校でどのようなことを学んだかをふり返る。 ・家庭分野の教科書を見て、学んできたページを理由を発表する。 ・課題解決学習（教科書 p4～5）の手順・実習の安全（教科書 p6～7）の理解を深める。 ・アニメやマンガに登場する家族を見ながら、「家族」「家庭」について気づいたことを発表する。 ・自立度チェックをやってみて意見交換する。 ・「家族・家庭や地域とのかかわり」の単元の見通しをもつ。	・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		
4 章 私たちの衣生活	「衣生活・製作」のガイダンス 1 衣服の働きを知ろう 2 目的に合わせて自分らしく着よう	1 3	・衣生活は「4 章 私たちの衣生活」と「5 章 生活を豊かにする製作」に分かれていることを知り、「衣生活」の単元の見通しをもつ。 ・グループで教科書 p164 の「話し合ってみよう」で意見交換する。 ・衣服の保健衛生上の働き・生活行動上の働き・社会生活上の働きについて知る。 ・教科書 p166 の「話し合ってみよう」を参考に、TPO と衣服の関連性について考えてみる。 ・コーディネートヒントについて意見を出し合う。 ・和服の特徴を知り、ゆかたを自分	・衣服と社会生活とのかかわりがわかり、衣服の基本的な機能について理解している。 ・衣服と社会生活とのかかわりがわかり、目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解		・目的に応じた着用、個性を生かす着用について、課題の解決に主体的に取り組

			で着たり、たたんだりすることができる。	している。 ・日本の伝統的な衣服（和服）について、着用される場や基本的な着装について理解している。		んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
3	衣服を計画的に活用できるようになるよう	1	・教科書 p170 の「考えてみよう」を発表し、計画的な活用の必要性を理解する。 ・衣服の 3R の実践例を学ぶ。	・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。		
4	自分に合った衣服を手に入れよう	2	・衣服の選択と購入について、既製服の表示例（組成表示・原産国表示・取扱い表示・表示者と連絡先など）を学び、読むことができる。 ・既製服のサイズを知り、採寸の仕方について確認する。	・衣服の適切な選択について理解している。	・衣服の適切な選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・衣服の適切な選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
5	衣服の手入れをしよう	6	・教科書 p180～181 の繊維の種類と特徴に対する理解を深める。 ・グループで教科書 p182 の「話合ってみよう」で意見交換し、発表し、洗濯における洗剤の働きを考えてみる。 ・電気洗濯機の操作の方法や洗剤の表示について知る。 ・クリーニング店の利用やアイロンかけや収納について、教科書以外の情報があれば出し合う。 ・基礎縫いの仕方について確認する。（ほころび直し）	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解していると同時に、適切にできる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。

					を解決する力を身に付けている。	
5 章 生 活 を 豊 か に す る 製 作	1 布を使ってつくってみよう	9	・製作の手順を確認する。 ・道具・注意点・型紙・材料などの説明を聞き、布で製作する。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。 ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
6 章 私 た ち の 住 生 活	「住生活」のガイダンス 1 住まいの働きを知ろう 2 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう	2 1	・教科書 p212～213 の日本各地の住まいの例を参考に、「住生活」の単元の見通しをもつ。 ・グループで教科書 p214 の「話し合ってみよう」を行い、住まいの働きについてまとめる。 ・生活行為と住まいの空間の関連性に気が付く。 ・住まい方の変化を理解する。 ・教科書 p218 の「調べてみよう」や p219 の「聞いてみよう」を自分の家族について調べたり、聞いたりする。 ・家族構成の変化と住まい方の変化に気が付く。 ・教科書 p220 の「考えてみよう」を行って、住まいの空間の使い方について意見交換し、理解を深める。	・家族の生活と住空間とのかかわりについて理解している。 ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間とのかかわりについて理解している。		・家族の生活と住空間とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

3 健康を守る室内環境の整え方を考えよう	1	・健康を守る室内環境について知る。 ・換気・結露などの用語の意味を理解する。	・室内の空気環境など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
4 家庭内事故から家族を守ろう	2	・教科書 p224 の図 11 や図 12 から幼児や高齢者の家庭内での事故死のおもな原因を知る。 ・バリアフリーやユニバーサルデザインの用語を確認する。 ・教科書 p226～227 の図 14 からわかったことを「話し合ってみよう」で意見交換し、理解を深める。	・家庭内事故など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
5 災害に備えた安全な住まい方を考えよう	5	・自然災害と住まい方の関連性を知る。 ・自分の住んでいる地域のハザードマップを調べる。 ・災害対策で中学生として自分たちができることについて考えさせる。 ・よりよい住まいについて考え、イラストを記入する。	・自然災害への対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・自然災害への対策など家族の安全やよりよい住まい方を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自然災害への対策など家族の安全やよりよい住まい方を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。